

然果卵の如し。吾人は此曠古の危機難局を直視し、國を憂ふる歌々たる一片の丹心抑へ難く、茲に驟然として奮起し警鐘を鳴らして同胞の覺醒と奮起とを促さんとす。

内を顧みれば國政に參與する既成政黨は眼中政黨あつて國家なく、徒に政權爭奪に没頭して黨利黨略の獲得擴張に腐心し、國利民福の寄與に關しては何等の經綸あるなく、爲めに百弊續出の因をなし、或は國家の殊遇を辱うする閥員にして私利私慾を充たさんが爲め政黨と結託し收賄行爲を爲して恥ざる者あり。或は神聖なる勳章を好餌として前代未聞の勳章疑獄を惹起したる破廉恥の官吏あり。或は減俸反對運動を起して官紀を紊亂せる官吏の朋黨あり。或は國政に參與する代議士の選舉を黃白の争と化し政界腐敗の因を爲して毫も顧みざる常習犯あり。或は政客と氣脈を通じて巧に金貨流出の機に投じて巨億の暴利を獲得せる貪婪なる財閥あり。

而して彼等政黨は一朝政權を掌握するや直に中央地方の大小官吏を根底より異動して餓えたる黨人の機官熱を充たし、或は之を選舉干渉の手段に供して其の治績治安に對しては概ね無關心なるのみならず、甚だしきに至つては植民地の高級官吏特種銀行會社の要部に至るまで悉く黨人を以て之に代へ其利權を占斷して黨費の策源地と化するに汲々とし植民地の經營及び重要なる事業並に金融の施設に對しては頗る冷淡なる等横暴の極を盡し、爲めに國家の綱紀を破壊し、社會の風教を紊亂し、以て國家を蠶毒するの非遠醜狀は實に枚擧に遑あらざるなり。

又我邦財政は逐年甚しく膨脹して國力との均衡を失するに拘らず何等見るべき整理の跡なく、加之偶々最近世界財界の變動に際會するや爲政者の錯覺輕舉に依り巨億の金貨は忽ち海外に流出して國庫の窮乏國內金融の硬塞

澁滯を招來し、更らに之を救済するに方り何等事前の準備善後の對策なるなく漫然として公債濫發の政策を標榜して一時を糊塗するに腐心し、爲めに一旦曙光を認め得たる我財界の前途も忽焉として暗雲低迷の觀を呈して、民心の不安動搖を激成し、國民生活の安定を缺き國內到る處悲鳴怨嗟の聲を聞かざる所なしとす。

今日の窮迫せる我財界を整理せんと欲せば徹底的に行政整理を斷行すること焦眉の急務なるに拘はらず、却て諸種の口實を構え不急の官職官制を設けて獵官狂の歡心を迎へんとするに至つては其暴狀實に驚くの外なしとす。抑も我邦の官制は歴代の内閣が人の爲めに官を設くるの惡弊を踏襲し來りたる結果、諸官廳は必要以上に膨大し、必然整理の餘地あるに拘はらず之に一大斧鉞を加ふるの英斷に乏しきは勿論更に近年何れの政黨内閣も窮民或は失業救済の美名に匿れて不急の土木事業を起し窮乏せる國庫に益々過重の負擔を課して敢て意とせざるは黨利黨略上より打算したる一種の民心迎合策に外ならず。況や帝都の中央に魏々として屹立する新議院及び新なる諸官廳舎の如き華奢なる大廈高樓は我が國富民力と對照して大に權衡を失するに拘らず之に巨額の國費を投ずるに吝ならざるに反し、國家の浮沈安危に關する國防に至つては之を不生産的施設として閑却し、反つて軍備の縮少を絶叫し國庫の窮乏を軍備の縮少に依つて補填せむとするの矛盾なる政策を遂行し、之に加ふるに政黨乃至輿論に迎合して自己の野心を充たさんとする過去に於ける一部の軍部當局は彼等政客と氣脈を通じ歩調を揃へて日露戰役以來我先輩が

明治天皇の御偉業を奉承して苦心慘憤辛うじて建設し得たる我陸軍に惜氣もなく大斧鉞を加へて前後二回に亘